閲 15.5.7
第355号

大正十五年五月[illegible]

日本[illegible]

[illegible]

小作人は日本農民組合へ

一無産者は勞働農民黨へ

一耕作權を確立せよ

問『小作人はなぜ貧乏か？』

答『それは、地主及資本家といふ階級からしぼられるからだ。』

問『なぜ、米をつくるのに手傳ひにも來ず、肥料もくれないのに、地主は小作人から高い小作米をしぼるのか？』

答『それは、これまでの世の中の習慣であり、その習慣が法律で、地主を保護するやうになつてゐるからだ。』

問『小作人が勝利を得られるのか？』

答『小作人は、頭數は地主資本家より多いのだ。この地主資本家よりは、多數である頭數をあつめることだ。團結するのである。團結は貧乏人の力だ！』

問『どうして小作人は團結されるのか？』

答『一村で、めざめた同志が十人以上あると日本農民組合といふ日本全國のめざめた小作人、農業勞働者の力强い組合の支部が設置できる。この日本農民組合に加入することが先決問題だ。』

問『それでは、どうしたら、小作人が農業し甲斐あるやうに、地主から解放されるか？』

答『地主と小作人は、ねずみと猫のやうに利害の相反する二つの階級に分れてあることにめざめ、地主階級と闘爭によつてのみ、小作人は解放される』

メーデーを祝へ

（五月一日勞働祭）

日本農民組合
大阪聯合會本部
大阪市北區梅ヶ枝町一九四
市電神山町[illegible]北へ入